

当院で造影 CT 検査を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 放射線科では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。**本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。**既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	大規模言語モデルを用いた造影 CT プロトコルの予測
【研究実施期間】	研究実施許可日～2027年3月31日
【研究実施期間・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 放射線科 研究責任者 堀田竜也
【対象となる方】	西暦 2022 年 1 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日の期間の平日 8:30～17:00 に救命救急センターCT 室にて診療のため造影 CT 検査を受けた方、335 名。(平日の夜間帯 (17:00～8:30) や、土日祝日に CT 検査を実施された方は研究の対象にはなりません。)
【研究の意義、目的、方法】	造影 CT 検査を行う際、単純 (造影剤注入前)、動脈相 (造影剤注入後 20 秒から 40 秒程度)、門脈相 (造影剤注入後から 70 秒程度)、平行相 (造影剤注入後から 3 分後程度) と時間経過によって体内の造影剤分布が変化していきます。なので、病気によって必要な相が異なります。当院では、依頼医から造影 CT 検査が依頼されると、放射線科医が依頼病名や依頼コメント等から必要な相を選択し、診療放射線技師に伝えています。しかし、夜間や土日祝日などは放射線科医が不在のため、診療放射線技師が依頼病名や依頼コメントをもとに、当院規定の造影プロトコルに従って検査を行っています。本研究では人工知能を利用して、造影 CT 実施時の放射線科医の依頼コメント等から教師データを作成し、造影 CT プロトコルの作成支援システムを開発し、検証することを目的とします。

【利用する情報の種類】	造影 CT 検査の依頼病名、依頼コメント、造影プロトコル
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者： 放射線科 堀田竜也 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）